

氏名	岡 崎 忠 雄
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 217 号
学位授与の日付	昭和42年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系産科婦人科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	脳手術時における水分電解質，酸塩基平衡の変動に関する臨床的研究 第1報 フローセン麻酔による術中及び術後の水分，電解質，酸塩基平衡の変動について 第2報 フローセンによる低体温麻酔中および麻酔後の水分，電解質酸塩基平衡の変動について
論文審査委員	教授 橋本 清 教授 小坂二度見 教授 浜本 英次

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

一般外科手術と異なり脳手術の際には水分，流解質，酸塩基平衡の著明な変動が認められ，術中・術後の管理上からも特に注意を要する。

著者は脳手術時におけるこれらの変動の基本的傾向を明らかにするために，下垂体，視床下部に直接侵襲のおよばない脳手術症例について，手術当日を中心にした短期間の変動を，フローセン麻酔による通常の脳手術の場合及びフローセン麻酔下低体温法による脳手術の場合について総合的な観察を試みた。体液諸相は常温例，低体温例共に術後に軽度の脱水傾向にあり，血漿電解質は常温例では著明な変動はみられないが，低体温例では Na, K, Cl 共に低体温中に一過性の低下が認められ，特にKの低下が著明であり，尿中電解質排泄では低体温例においてKの排泄が増加する。このことはフローセンによる低体温中は Aldosterone の分泌増加が存在することが推測される。酸塩基平衡の面では低体温例における復温時の軽度の metabolic acidosis とその後の respiratory alkalosis が特徴的である。

(麻酔第16巻第2号および第3号 昭和42年2月および3月発行 掲載予定)

## 論文審査の結果の要旨

脳手術前後の水分，電解質，酸塩基平衡の変動の基本的傾向に関して総合的に研究した報告は，世界においても殆んどみられない。常温及び低体温麻酔時におけるこれらの変動を著者は詳細に検討し，その結果は脳手術前後の患者管理の上からも貴重なデータとなり得るものであった。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。